

福祉サービス第三者評価受審施設アンケート結果  
(令和6年4月実施)

1 アンケート実施概要

(1) 実施時期

令和6年4月

(2) アンケート対象

- ・ 前回アンケート（令和5年4月）実施後に第三者評価を受審した施設・事業所
- ・ 対象施設数 21施設

(3) アンケート回答

- ・ 対象の21施設のうち19施設が回答。回答率90%。

【 回答した19施設のうち、有効回答は19件。 】

事業別の回答数は以下のとおり。【 】内はアンケート対象施設数

社会的養護関係施設【9】			
児童養護施設 【4】	母子生活支援施設 【4】	乳児院 【1】	
4	4	1	
回答数合計 9			
社会的養護関係施設以外【12】			
障害福祉サービ ス事業所【5】	保育所 【4】	福祉型障害児入所 施設【1】	障害者支援施設 【2】
3	4	1	2
回答数合計 10			

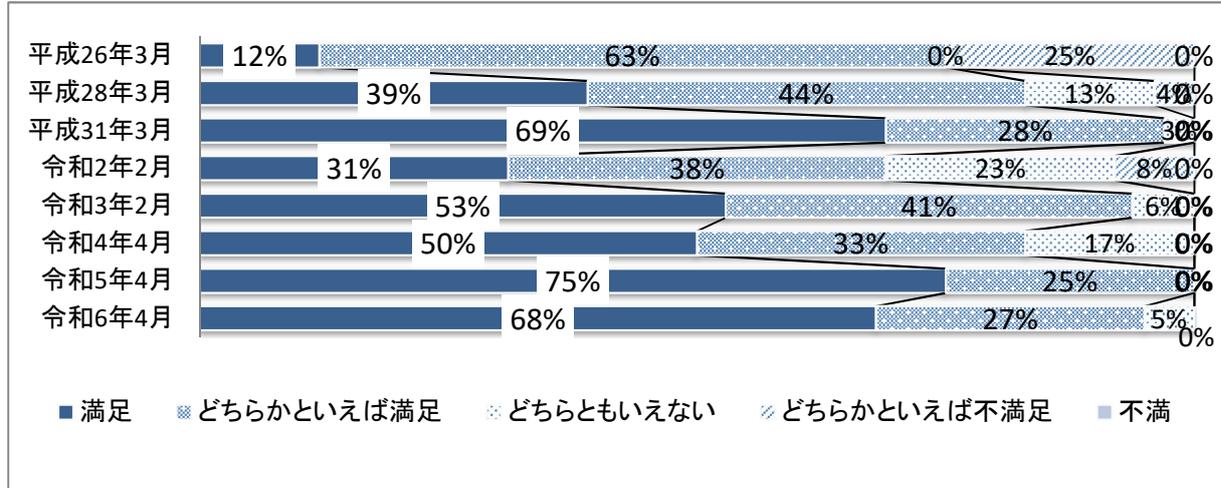
(4) これまでのアンケート実施概要

No.	実施時期	対象施設数	アンケート回答	回答率
1	平成26年3月	9施設	8施設	89%
2	平成28年3月	24施設	23施設	96%
3	平成31年2月	57施設	30施設	53%
4	令和2年2月	15施設	13施設	87%
5	令和3年2月	18施設	17施設	94%
6	令和4年4月	18施設	18施設	100%
7	令和5年4月	16施設	12施設	75%

## 2 アンケート結果概要

## (1) 第三者評価の受審全体の満足度

・前回調査より、「満足」と回答した施設の割合が減少した。



## ※ 施設種別ごとの満足度（令和6年4月アンケート結果）

	満足	どちらかとい えば満足	どちらとも いえない	どちらかとい えば不満足	不満
社会的養護関係施設					
児童養護施設	2	1	1	0	0
母子生活支援施設	2	2	0	0	0
乳児院	1	0	0	0	0
社会的養護関係施設以外					
障害福祉サービス事業所	3	0	0	0	0
保育所	2	2	0	0	0
福祉型障害児入所施設	1	0	0	0	0
障害者支援施設	2	0	0	0	0
計	13	5	1	0	0

## (2) 受審して良かったと思う点

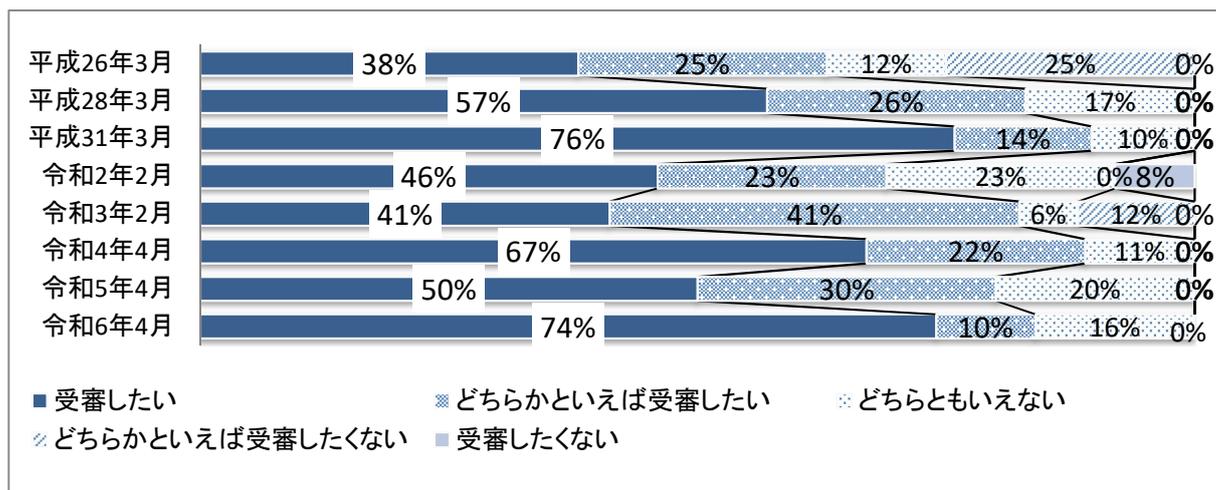
- 普段の業務で意識が欠けている面もあり、第三者評価を受審することにより、改めて認識を深めることができる点は良い面だと思います。
- 施設として改善すべき点を客観的に指摘されることで、職員の職務に対する意識の向上を図ることができた。また、課題を確認することができた。
- 支援する側と第三者からみた視点の違いや、実際に入所している方の意見も聞くことが出来て改善点も伝えて頂ける点が良かったです。

- 日常の支援の中でマニュアル等も含めてきていないところに気づくことができた
  - 客観的な立場から評価して頂いたことで、新たな課題や改善点に気づくことができた。また、取り組んでいることについて評価頂いたことは職員の自信にも繋がった。職員の自覚を促し、業務内容を見直す良い機会となった。
  - 管理者と現場職員との考察の違いが理解できてよかった。説明も丁寧でよかった。
  - 運営についての職員の理解、認識や支援に対しての意識を知ることが出来、今後の施設運営や資質向上のために何をすべきか何が必要なのかを職員全員で共有でき実践にむけ動き出している。
  - 今後の課題や改善点が明確になり、よりよい施設運営の道すじになりました。
  - 客観的に事業所としての課題を把握する事ができた。
  - 園の取り組みについて評価をいただき、確認することが職員の意欲に繋がる。また、改善に向けてアドバイスやアイデアが参考となり、保育の質の向上に繋がり運営基盤が強化される。また、園の課題が明確になり参考になる。
  - 自分自身を含む、職員からの園の評価を知ることができた点。
  - 自分達の実施している事業や業務運営に関して、客観的に評価いただきました。また評価だけではなく、改善に向けての御提案やアドバイスを具体的にいただき、事業運営に活かすことが出来ました。
  - 改善点を指摘して頂き、その具体策も説明して下さったので、判り易かった。できていない所は納得できたし、後は実践あるのみである。
  - 事業所としてあるべき姿や現状の不十分な点を再確認し、改善すべき点の気づきに役立ち、今後の方向性が明確になった点が良かったと思います。
  - 自分からの視点では気づかなかった課題等がみえて、改善に向けた取り組みを行い、施設の運営、利用者様のサービスの質の向上に貢献できること。
  - 利用者、ご家族へのアンケートでは、当施設をどのように捉えているかを知る良い機会になった。また、評価項目毎に3段階評価と更なる資質向上に向けて具体的なコメントを頂けた。
  - 保育士の意識や振り返り、さらにそれが保育の質の向上に繋がっていくために、自分たちでは気づかない改善点を教えていただきました。また園全体の組織として構築の仕方をわかりやすく教えていただいたことで明確になり取り組みやすくなりました。
- (3) 苦労した点・改善を望む点
- 準備書類が多く、通常の業務をしながらの対応に苦労した。
  - 業者によって実施期間の違いや、質問に対しての評価基準が分かりにくい所も見られた。集計部分でも自分達で実施しなくてはならない所もあり、大変であった。
  - 提出物が多かったような感じがしました。
  - これまでは筆記式だった為、評価用紙を職員数分準備することや集計にとても時間がかかり大きな負担だった。今回は QR コードを用いた回答だった為とても負担が減った。
  - 記入方法も各自のケイタイから打ちこむように改善されていてやりやすくなっている。

- 受審する職員の勤務年数に幅があり読解するまで時間を要していた。
- 施設の特性として、ボランティアの受け入れ等、難しいが今後は社会福祉協議会など地域の社会資源等と連携し、学習ボランティア等の受け入れ体制を考えていきたいです。
- 評価基準云々とか言うよりも、こちら側で把握できなかった部分が多く苦勞しました。
- 地域との交流、地域貢献が院内の保育園としての課題であるが、園の運営的にも外部受け入れが難しいことも現実であり改善が難しい項目である。
- 職員の自己評価項目が多く、職種によって答えにくい箇所も多くみられた。もう少し簡単な内容でもよいのではないかと思う。
- 評価基準の項目が多いので、該当の有無の確認に手間取りました。
- 評価等について、他者に説明するにも、そもそもボリュームがあるので、何度も、紙に印刷し、配布しての繰り返しになり大変さを感じる。
- 初めての受審だったため、自己評価の項目が保育士にわかりにくく無回答が多くなってしまった。設問1～7までと管理者に関する項目など。

#### (4) 今後の受審希望

- ・前回調査より、「受審したい」と回答した施設を合わせた割合が増加した。



宮城県 社会福祉課 団体指導班 宛て

&lt;添書は不要です。&gt;

FAX：022-211-2594 E-mail：syahukd@pref.miyagi.lg.jp  
〒980-8570 仙台市青葉区本町3丁目8-1 宮城県社会福祉課

## 福祉サービス第三者評価受審施設・事業所アンケート

宮城県では、福祉サービスの質の向上及び福祉サービス利用者の選択に資する情報提供の充実を目的として、福祉サービス第三者評価受審率の向上に取り組んでいます。

つきましては、本事業の普及啓発と受審促進に活用するため、福祉サービス第三者評価を受審いただいた施設・事業所の皆様を対象としたアンケートを実施いたしますので、御協力くださるようお願いいたします。なお、回答内容については、施設・事業所名を伏せて集計し、普及啓発等に活用させていただきますので、御了承願います。

御記入者

施設・事業所名	
記入者 職氏名	
連絡先（電話番号）	

問1 第三者評価を受審しての満足度を選んでください。

1 満足・2 どちらかといえば満足・3 どちらともいえない	番号
4 どちらかといえば不満・5 不満	
※当てはまる番号を御記載ください→	

問2 第三者評価を受審して良かった点をお書きください。

--

問3 第三者評価を受審して苦勞した点や改善を望む点をお書きください。

※ex) 評価基準の内容が分かりにくかった・・・具体的にどの項目が分かりにくかったかを記入願います。

--

問4 今後も第三者評価を受審したいと思うかお書きください。

1 受審したい・2どちらかといえば受審したい 3どちらともいえない 4どちらかといえば受審したくない・5受審したくない ※当てはまる番号を御記載ください→	番号
【その理由】	

問4-2 これまでに第三者評価を複数回受審いただいた施設・事業所にお尋ねします。  
再受審を決めた理由をお書きください。 ※社会的養護施設を除きます。

--

問5 その他第三者評価を受審して感じたことや要望、御意見等がありましたらお書きください。

--

問6 第三者評価の受審を検討している施設・事業所に対し、受審を勧めるポイント（受審によって得られた点、貴施設・事業所内での良い変化や改善が図られた点など）がありましたらお書きください（前段の回答と重複した内容でも結構です。）。

--

御協力いただき、ありがとうございました。